

咀嚼・咬合論



著 明海大学歯学部非常勤講師 丹羽克味
 宮崎市開業 田島基紀

AB判 2色刷 223頁
 定価8,400円(本体8,000円+税)
 ISBN978-4-7624-0667-6

単純・明解咬合論

- ◆「正しい咬合とは、臨床で真に必要な顎位とはなにか」、あらゆる症例に適用できる咀嚼運動理論(咬合理論)がはたして存在するのか長年悩んできた著者が、ようやく1つの結論に到達。
- ◆歯ぎしりや顎関節症の治療に関する咬合も、インプラントや小さなインレーの咬合も、まったく同じ理論で治療が可能です。
- ◆正しい咬合理論を臨床に適用してこそ、患者さんが満足できる治療につながります。

Contents

Prologue すべての症例に適用できる理論の確立を

基礎編 咬合の確立と構成	Part3 咬合面の害	Part7 隣接歯の関係
Part1 咬合面は変化する	Part4 咬耗の功害	Part8 顎関節の機能
Part2 咬合面は、なぜ存在するの	Part5 咬合性外傷の存在とは	Part9 中心位と中心咬合位
	Part6 咬合平面の形	Part10 中心位への誘導
理論編 新しい咀嚼運動理論	Part12 リンガライズドオクルージョン	Part15 かみ合わせの確立と安定
Part11 顎の動きは咬合面	Part13 理想的なかみ合わせ	Part16 咀嚼とは
で決まる	Part14 正常なかみ合わせの要件	Part17 新しい咀嚼運動論
実践編 新理論からみた臨床	Part19 かみ合わせの診断と治療	Part21 咬合器の役割
Part18 歯科治療のもたらすもの	Part20 かみ合わせの調整	Part22 ブラキシズムの治療
		Part23 顎関節症の治療
Epilogue 真の理論とは、すべての症例に適用できる理論		

